



学校給食費無償化

薩摩川内市とほぼ同規模の鹿屋市で実施

本市とほぼ同規模の人口10万人の鹿屋市は2024年度一般会計予算総額610億4000万円のうち4億9000万円を財源にあて小中学生の学校給食費完全無償化に踏み出しました。

日本共産党の柴立豊子鹿屋市議によれば、昨年は高校生一人当たり月額5000円の高校生応援給付金支給事業を市単独で行っていたが、国が今年度から始める高校生まで拡充(これまでは中学校終了前まで)された児童手当により単独事業分の約2億円を学校給食費

無償化の財源に回したとのことです。

県内で無償にしている自治体はわかっているだけで5市6町4村になります。10万人の鹿屋市で学校給食費の無償化が行われたことは画期的なことと薩摩川内市の総務文教委員会では、委員から「既に無償化を行っている

自治体は、比較的財源が豊富な都市圏や多くの財源を必要としない小規模自治体が多い」と学校給食費無償化を求める陳情に反対する理由のひとつに「無償化は、鹿屋市が無償化に踏み切ったことでその論拠が崩れたかたちになります。

「平和とピアノコンサート」に158人

3月30日に東郷公民館ホールで開かれた「シヨパン 花束に隠された大砲 ピアノ&トーク 平和と人権コンサート」に158人が集まりました。聴衆はピアノリストのチェ・ソンエさんのピアノ演奏とトークに聞き入りました。

日本で生まれ育ちながら外国籍であるがゆえに差別を受けてきたチェ・ソンエさんと植民地化された祖国ポーランドに帰れなかった



演奏会後スタッフと記念撮影、中央がチェさん=30日、東郷公民館

シヨパンの人生とが重なって深い共感の感動が会場をつつみまわりました。多くの参加者が帰り際実行委員に「素晴らしい企画をありがとう」などと声をかけて会場をあとにしました。

鹿児島市議選 全員当選

鹿児島市議選が14日投票開票され、日本共産党は現職3氏が現有議席を守りました。市議選は定数45を61人が争う大激戦となる中で、3人の得票合計は9895票で前回9958よりも63票減。大園たつや氏2866(39位)、園山えり氏

4010(12位)、たてやま清隆氏3019(38位)でした。鹿児島市議会構成は共産3↓3、自民21↓17(4減)、社民4↓2(2減)、国民2↓1(1減)、立憲2↓4(2増)、維新0↓1(1増)、参政0↓1(1増)、無所属7↓10(3増)



鹿児島市役所前であいさつする(左から)園山、たてやま、大園の各市議=15日、鹿児島市

こちらくらしの相談所 (No. 570)
携帯 080-3996-0237 (井上)

公共施設のピアノ

先日の平和と人権コンサートでは、東郷公民館ホールのピアノを使用しました。演奏は午後3時からですが、鹿屋から来ていただいた調律師は当日の午前中から調律をされていました。高価なピアノですが、調律に苦労したそうです。

「湿気が原因ではないか」とのこと。かつては除湿器もあつたそうですがそれも壊れてしまいました。コンサートは大成功しましたが、今後のピアノの管理について「2月に調律したばかりなのに、3月30日のコンサート当日に調律してもらいましたが、状態が悪かったそうです。そこでピアノを入れる倉庫(大工さんに頼めば安いと

4月27日(土) 14時〜 SSプラザ
せんだい103号室で視聴会。

「人間の自由」と社会主義・共産主義
『資本論』を導きに
志位さんが語る
学生オンラインゼミ 第3弾
4月27日(土) 14:00(START) ~17:00(予定)
講師 日本共産党中央委員会副委員長 志位和夫さん

